

(様式1)

平成30年度事業報告書（鳥取県立障害者体育センター）

1 管理運営の体制

(1) 管理運営の組織

別紙1「障害者体育センター組織図」のとおり

(2) 職員の職種等(平成31年3月31日現在)

職種(職名)	雇用関係	月勤務日数	担当業務
所長(厚和寮兼務)	常勤 (兼務)	21日	施設統括 他機関等との連携調整等
事務員 (厚和寮兼務)	常勤 (兼務)	21日	施設出納管理事務、予算執行管理等
管理員(専任)	常勤1 非常勤2	21日 16日程度	利用受付・案内等、窓口対応、施設管理(日常清掃等)、環境管理、防火管理 スポレク事業の実施等
警備員(いこいの杜兼務)	非常勤 (兼務)	15日×2名	夜間の施設巡回

(3) 職員配置(平成31年3月31日現在)

常勤1名(日勤A、遅番B、夏遅E)、非常勤2名(早番C、遅番D、夏遅F)の計3名によるローテーション勤務。

配置場所	職員配置の時間帯	職名
管理事務室 (館内)	日勤A : 9:00~17:45	管理員(専任)
	遅番B : 12:30~21:15	管理員(専任)
	早番C : 9:00~13:00	管理員(専任)
	遅番D : 17:15~21:15	管理員(専任)
	夏遅E : 13:00~21:45	管理員(専任)
	夏遅F : 17:45~21:45	管理員(専任)

(4) 人材育成

運動中の緊急対応を想定し救命救急講習の他、利用者サービス向上のため人権研修への参加を行った。また、避難訓練に参加し有事の際の適切及び速やかな避難誘導の仕方について確認を行った。職員会を実施し情報の共有や連携を図った。

(5) 鳥取県版環境管理システム(TEAS)Ⅲ種の取り組みについて

平成21年度にTEASⅢ種の認証を受けてから、「電気使用量の削減」、「廃棄物量の削減」に取り組んでいる。電気使用量では、利用状況に合わせた点灯や空き時間におけるロビー減灯(又は消灯)を実施し、使用量の削減に努めた。廃棄物に関しては、当センターは以前からゴミ箱を設置せず、持ち帰りを基本とし、廃棄物の削減に努めた。医療用廃棄物は、隣接する施設に廃棄を依頼した。

(6) 管理体制上の問題

利用料過誤請求に対する防止策として作成した管理台帳を用い、複数職員によるチェック体制に取り組み、誤請求事案は起きていない。

2 管理業務の実施状況

(1) 施設及び設備の保守管理

ア 清掃業務

清掃箇所	実施区分	頻度又は実施日	内容
館内(ロビー、トイレ、更衣室等)	管理員	1日に1～2回	掃除機及びモップ掃除、ロッカー内のチェック、タイル水まきブラシ清掃等
しらはまグラウンド	管理員	1週間に1～2回	グラウンドの見回り(ゴミ拾い等)
駐車場	管理員	毎日	駐車場及びスロープの点検及びゴミ拾い、除草

※業者に委託しているものについては、下記「外部委託の実績」に記載している。

イ 消防法に基づく点検

消防設備点検箇所	点検等業者	点検日	点検結果	備考
機器・総合点検		平成30年7月18日	消火器1本期限切れ	取替済
機器点検		平成31年3月8日	誘導灯機器期限切れ	取替済

ウ 浄化槽の保守管理及び点検

設備保守・点検・検査区分	点検日	点検結果	点検等業者
浄化槽設備保守・点検 (注薬等)	(1回目)平成30年5月2日	異常なし	
	(2回目)平成30年7月9日	異常なし	
	(3回目)平成30年9月6日	異常なし	
	(4回目)平成30年11月1日	異常なし	
	(5回目)平成31年1月7日	異常なし	
	(6回目)平成31年3月15日	異常なし	
浄化槽清掃 (沈殿室等清掃)	(1回目)平成30年8月7日	異常なし	
	(2回目)平成31年2月28日	異常なし	

エ 施設賠償責任保険の加入状況

保険種別	加入日	保障期間	主な保障内容
施設賠償責任保険	平成30年4月1日	平成30年4月1日	身体・財物 1名填補限度額2億円 1事故填補限度額10億円
保険会社名		～	
		平成31年3月31日	

オ 備品の購入状況等

(7) 取得備品(3万円以上)

バレー審判台1台、折りたたみ椅子用収納台車1台、業務用掃除機1台

(4) 廃棄備品(3万円以上:県貸付物品)

ファンヒーター1台、バレーボール支柱2組

カ 自動販売機の設置状況

販売品目	設置台数	設置場所	契約年月日	契約期間
清涼飲料品 (お茶、スポーツドリンク等)	1台	館内ロビー	平成21年4月1日	平成21年4月1日から 平成28年3月31日まで (H28.4.1以降自動更新)

キ 保守管理における特記事項
特になし

(2) 外部委託の実績

業務委託名	業務内容	委託業者名	契約額(円)	契約方法
消防設備保守点検	年2回(機器・総合点検1回、 機器点検1回)		21,600	東部地区施設で共同入札
浄化槽設備保守点検	槽バッキ運転状況確認等 保守点検、注薬(年4回)		25,272	東部地区施設で共同入札
浄化槽清掃	槽内沈殿室等の清掃(年2 回)、最終処理場汚泥処理		69,551	東部地区施設で共同入札
体育館内清掃	ワックス清掃(体育室・ロ ビー等)及びガラスクリ ーニング、トイレ便器、 換気扇等清掃		172,800	随意契約
しらはまグランド 整備	年2回の除草作業		388,800	随意契約(障がい者施設 を優先するため)
自動販売機による 販売	缶110円/本、ペットボトル 140円/本での販売委託		商品代金の 28.1%	随意契約 (3社見積合せ)
警備委託	夜間・休館日の警備		103,680	随意契約 (2社見積合せ)

(3) サービスの向上策等への取組状況

ア サービスの向上策に向けた取組内容

① 目標値の設定

利用促進に資するため、目標値の実現に向けて取り組んだが、減免利用者数が目標値を下回った。今年度各利用については下記のとおり。

<一般利用>

一般利用という点では利用人数は昨年度より増え、延べ利用者数では目標値を上回った。

また、利用料収入は目標値を達成できなかった。障がい者団体に比べ予約が遅くなるため空いた時間での利用に限られることも利用が伸びにくい要因になっていると思われる。障がい者の方の利用が優先されていることもあり、一般の利用の伸びは大きくはないと思われる。

<減免利用>

前年度と比べ延べ利用者数は減り、目標数値を達成できなかった。定期利用団体等のキャンセルが多かったこと及び夏場、猛暑により利用のキャンセルが多かったことが原因と思われる。

その他利用状況では、利用申請後の利用キャンセルが年間177回ありその7割は利用が埋まらない状況である。キャンセル率が4割強の団体や実際の利用が平均で1名～3名/日という団体もあった。

区分	H30年度				(参考) H29年度実 実績	
	目標値	実績	対比(目標値)	対比(前年度)		
一般利用	延べ利用者数	2,121人	2,291人	170人	268人	2,023人
	利用料収入	350,175円	266,985円	△83,190円	39,575円	227,410円
減免利用	延べ利用者数	5,398人	5,282人	△116人	△130人	5,412人
	利用料収入	1,637,832円	1,569,135円	△68,697円	△94,735円	1,663,870円

②ハード、ソフト面の改善

平成30年度は、オストメイト設置工事を実施した。

その他、修繕として、駐車場外灯支柱修繕、バスケットゴール修繕、西側スロープに照明設置、テニス支柱の塗装とネット修繕等を行い、利用に支障がでないように配慮した。

ソフト面については、夏季(7～9月)開館時間の延長(9時～21時30分(通常期は9時～21時))を継続実施した。

③情報発信、広報

ホームページは随時更新し、従来通り利用手続、利用料金、予約状況、その他イベント情報などの情報発信を行った。

施設内においては、県内の障がい者スポーツ関連のイベントやチラシ、ポスターを掲示し、情報発信を積極的に行った。

④スポーツ教室、スポーツイベントの企画、実施

今年度も5名の障がい者スポーツ指導員を講師として招き、月2回(第1・第3金日)体育センタースポレク教室を開催した。スポレク内容については、障がいの種別や程度に関係なく誰でも楽しむことが出来る「ふうせんバレー」を実施し、活動前後に準備運動や、クールダウンとしてミュージックケアを行った。近年の猛暑の影響で、夏季の活動を控えたり休憩を長くするなど対策をとりながら実施した。実施状況は19回実施し、延べ544名の参加であった。

障がい者スポーツ大会については、前年度に引き続き、鳥取県身体障がい者卓球協会主催の鳥取県障がい者親善卓球大会(計60名)が当施設で開催された。

⑤その他サービス

ロビーに清涼飲料水の自動販売機(1台)を設置し、利用いただいた。

イ しらはまグラウンドの活用策

周囲に民家があることから、実際の利用に結びつけることができなかった。活用がないことで雑草が繁茂するため、除草を年2回実施した。管理を怠ると花粉等の苦情にもつながることから、防球フェンスなどの安全対策を行い、有効活用を検討する必要がある。

(4) 事故・事件の防止措置と緊急時の対応状況

10月には近隣施設合同の防災訓練に参加し、近隣の各関係機関と一緒に通報訓練及び避難誘導・人員確認の訓練を行った。火災、災害時の有事に備え、日頃から近隣施設との連携を図るとともに、いこいの杜警備員による定時巡回等を行い、事故、火災発生等未然防止に努めた。

システム警備により、職員不在時の夜間と休館日において、火災や盗難等があった場合に迅速に対応出来るようにした。

(5) 個人情報保護法への対応状況

当法人の「個人情報保護規程」に基づき、文書等の持出禁止、データ管理、文書廃棄の適切な処理等を行うとともに、個人情報基本方針を館内掲示するなど適正な取扱いを実施した。

(6) 情報公開への対応状況

当法人の「情報公開規程」に基づいた適正な取扱いを行った。今年度については、外部(利用者等)からの開示申出等はなかった。

(7) 利用者の要望把握方法及び利用者からの苦情内容並びにそれらに対する対応状況

管理員は、利用者と積極的にコミュニケーションをとり、利用者の要望等を把握する他、事務所入口前に「意見箱」を常設し、要望や苦情等の受付を行った。

年に2回、利用者との「意見交換会」を実施し、可能なものは直ちに改善を行った。また、利用団体に物品購入及び修繕要望用紙を配布し意見の聞き取りと改善に努めた。

3 障がい者の優先的な利用の確保及び利用促進状況

(1) 障がい者の優先利用策への対応状況

利用申込については、障がい者の利用申込受付期間を6か月前(※)(一般利用者の申込は1か月前)から可能として、優先的に対応した。

また、障がい者等の利用については、利用料減免制度により、料金の全額又は半額免除を行った。減免制度については、ホームページやパンフレット等を通じて広報を行う他、職員による対象者への説明等を随時行った。

※ 障がい者団体(鳥取県障がい者スポーツ協会加盟団体又は5人以上で利用する団体)を対象に、事前申請をしていただき、利用希望日時が重なった団体同士にのみ、利用調整会(9月(当年度下期分)、3月(翌年度上期分))を実施した。

団体によっては、定期利用への強い拘りがあり調整に苦慮することもあるが、あくまで利用者同士が話し合い、納得・了解されたうえで利用を決定した。

(2) 障がい者の利用促進策への対応状況

2の(3)のアの④に記載したとおり、スポレク事業の定期的・継続的な活動と障がい者スポーツの大会等の利用促進を行った。

4 利用者の利用状況

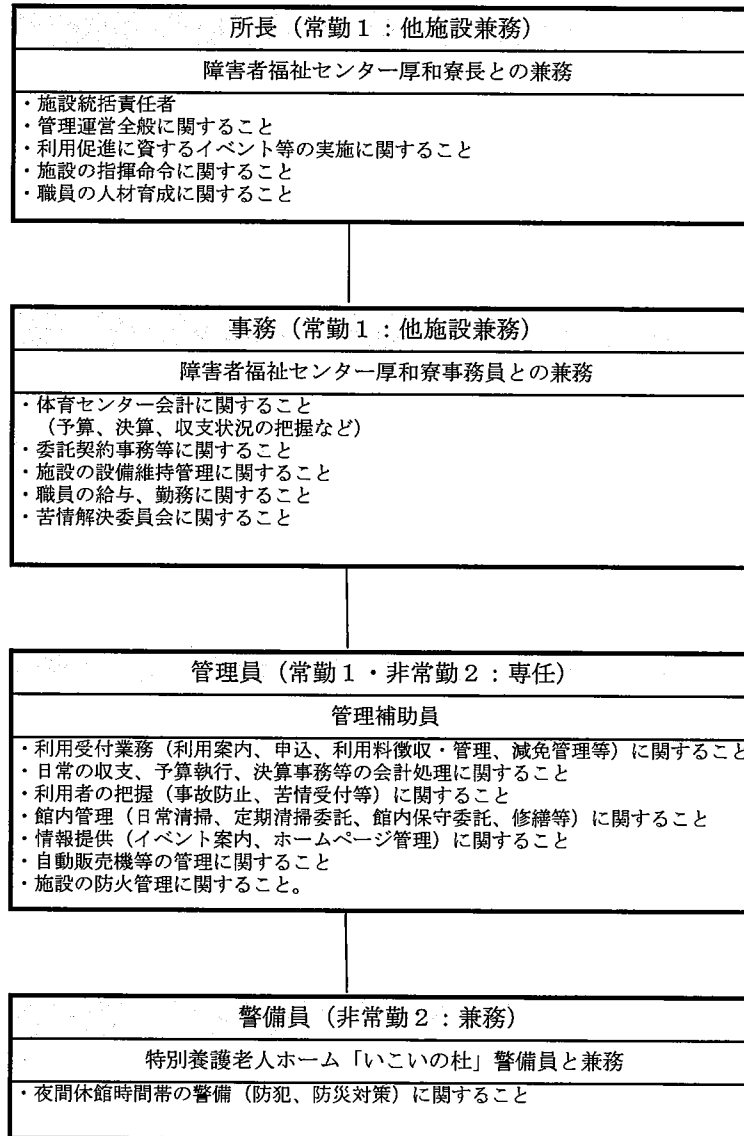
別紙2「利用者の利用状況」のとおり

5 管理施設の利用に係る料金の収入の実績

別紙3「利用料金等実績表」のとおり

6 管理センターの管理に係る経費の収支状況(様式1)

平成30年度障害者体育センター管理運営組織図



(別紙3) 利用料金等実績表

1 利用料金

料金区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
延べ収入利用者数	150	135	209	155	131	162	219	298	214	169	214	235	2,291	
徴収料金	利用料金(照明用具料込み)	18,755	14,770	21,535	22,790	19,530	16,965	31,975	33,140	22,915	22,010	24,080	18,520	266,985
	ロッカー一利用料	10,200	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	12,000	3,400	58,600	3,400	125,400
													0	
利用料金合計	28,955	20,170	26,935	28,190	24,930	22,365	37,375	38,540	34,915	25,410	82,680	21,920	392,385	

2 障害者等減免額

減免区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害者	250	303	315	230	154	193	356	222	169	156	187	277	2,812
本人	214	256	267	201	139	174	296	177	144	123	152	227	2,370
介護者	36	47	48	29	15	19	60	45	25	33	35	50	442
高齢者	89	112	100	98	102	102	115	102	70	91	95	108	1,184
要介護者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者等の社会参加促進 目的利用者(福祉目的利用等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者及び高齢者と 同時使用した一般者	104	97	119	142	106	127	114	85	116	77	90	109	1,286
減免額合計	126,985	131,100	105,675	99,850	140,210	143,775	114,995	134,250	123,865	132,840	148,880	166,710	1,569,135
減免者延べ数	443	512	534	470	362	422	585	409	355	324	372	494	5,282

(別紙2) 利用者の利用状況

1. 利用者別の利用延べ人員

利用区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
延べ利用者数	専用	593	647	743	625	493	584	804	707	569	493	586	729	7,573	
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内訳	障がい者	専用	214	256	267	201	139	174	296	177	144	123	152	227	2,370
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者	専用	89	112	100	98	102	102	115	102	70	91	95	108	1,184
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護者	専用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1/2以上使用 (介助者)	専用	36	47	48	29	15	19	60	45	25	33	35	50	442
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉目的	専用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般(減免扱い)	専用	104	97	119	142	106	127	114	85	116	77	90	109	1,286
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	専用	150	135	209	155	131	162	219	298	214	169	214	235	2,291
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		593	647	743	625	493	584	804	707	569	493	586	729	7,573

2. 利用目的別の利用延べ人員

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
フライングディスク	33	33	36	20	11	15	20	21	11	1	1	12	214
バスケットボール	90	60	63	124	124	48	79	58	91	61	111	73	982
バレーボール	56	45	89	48	54	76	60	48	55	34	35	26	626
バドミントン	11	24	15	10	12	12	8	4	6	5	4	0	111
卓球	125	151	166	133	154	202	161	167	123	147	159	204	1,892
アーチェリー	18	25	18	14	30	21	11	35	46	47	45	63	373
テニス	12	15	12	4	12	7	14	18	8	17	19	8	146
フットサル	39	62	98	76	53	92	115	151	86	96	90	42	1,000
その他	209	232	246	196	43	111	336	205	143	85	122	301	2,229
合 計	593	647	743	625	493	584	804	707	569	493	586	729	7,573

(様式1)

平成30年度鳥取県立障害者体育センターの委託業務に関する収支実績報告書

団体の名称(社会福祉法人鳥取県厚生事業団)

(単位:円)

区分		内訳		金額		
収入項目	利用料金収入	30年度利用料金実績額(延利用者数2,291人)		266,985		
	減免交付金	30年度減免交付金額 延べ減免者数5,282人(うち、全免5,055人、半免227人)		1,539,000		
	県からの委託料	30年度委託費		8,969,000		
	その他収入	雑収入	公衆電話手数料	3,260	236,600	
			自販機、ロッカー利用料等	233,340		
		受取利息配当金収入	預金利子	73	73	
会計単位間繰入金収入	社会福祉事業会計繰入金収入					
収入合計(A)				11,011,658		
支出項目	人件費(正職員)	職員俸給	兼務職員(2名)5%負担	373,860	4,614,103	
		職員諸手当	兼務職員(2名)5%負担	68,940		
		職員賞与	兼務職員(2名)5%負担	197,814		
	人件費(非常勤職員)	非常勤職員給与	管理補助員(1名)+職員代替(2名)+警備員(2名)10%負担 賞金、諸手当、代替職員費等	3,596,072		
	人件費	法定福利費	健康保険料		132,128	4,614,103
			厚生年金保険料		209,471	
			児童手当拠出金		6,630	
			雇用保険料		13,635	
			労災保険料		9,197	
			年金共済掛金	兼務職員(2名)5%負担	6,356	
	施設維持管理費	福利厚生費	職員検診費		31,628	4,548,108
		職員被服費	ジャンパー		0	
		旅費交通費	県内旅費		0	
		研修費	研修に係る旅費、受講料		0	
		消耗品費	事務用品、清掃用品等		344,102	
		印刷製本費	申込書印刷等		62,089	
		水道光熱費	電気、水道、ガス		1,188,936	
		燃料費	灯油		25,738	
		修繕費	施設内設備修繕等		1,296,740	
		通信運搬費	電話代、インターネット接続料		42,496	
		会議費	講師お茶代等		7,153	
		業務委託費	体育館清掃、浄化槽清掃等		805,048	
		手数料	振込手数料		36,936	
保険料		施設賠償責任保険等		34,427		
貸借料		モップ、コピー機		69,972		
保守料		消防設備点検等		46,872		
租税公課		本則課税消費税		340,000		
雑費	講師謝金等		215,971			
固定資産取得支出			0			
支出合計(B)				9,162,211		

収入合計(A)－支出合計(B)＝1,849,447円